

第4章

～今後の取組～

1 今後の取組

① 基本的な方向性

12次産業化の推進にあたっては、引き続き、行政独自の取り組みのほか、民間の取り組みの活性化を図り、急速に進展する少子・超高齢社会に向け、持続可能なまちづくりを進めることや、企業、NPO法人、地域コミュニティ協議会、サークルなど、様々な担い手が主体的に取り組みを進めること、また、私たちの身近にどのような田園資源があるのかを理解してもらい、既に行われている取り組みを知ってもらうことなどが重要であると考えます。

本市では、12次産業化に取り組まれている事業を広く情報発信することで、新たな事業創出に向けた機運醸成や、既存事業の発展となるきっかけ作り提供するとともに、事業者間の橋渡し役としての役割を目指していきます。

② 普及のための取組

これまで取り組みのあった多くの事例から、民間事業者による取り組みのさらなる展開、普及を目指し、12次産業化推進本部を設置し、市長を本部長とした体制のもと、庁内や民間事業者へ必要な支援、情報提供を行います。

(1) 取組事例の紹介

民間事業者が取り組んでいる事例を、新潟市ホームページで広く発信していきます。

(2) セミナーの開催

セミナーを開催し、市民、事業者への情報提供を行うとともに、新たな事業創出に向けた機運醸成や、既存事業の発展となるきっかけ作りを提供していきます。

2 庁内事業の取組目標

令和元年度までで、廃止となった事業を含めた累計事業数は86事業（6分野に該当しない4事業含む）あり、その中には、6分野のうち複数の分野にまたがる取り組みも確認されています。

これまでの毎年度における新規取組事業数の推移は下記のとおりです。

<新規取組事業の延べ件数の推移>

H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	年度平均新規取組事業件数
18件	30件	36件	43件	10.75件

令和2年度以降の取組は、これまでの実績を踏まえ、事業全体で、これまでの実績平均値を上回る **11件/年度を目標**に、新規事業の掘り起こしを行います。

3 民間事業に対する普及支援の取組

民間事業は、企業等の自発的な取り組みであることから、本市としては、その取組を、庁内関係課や各メディア媒体等から情報収集し、情報発信に注力していくことで、コミュニティ支援や、協働・パートナーシップの拡大の促進に繋げていきます。

これまで市ホームページにおいて紹介している民間の取組事業数の推移は下記のとおりです。

<市ホームページでの民間事業紹介の延べ件数の推移>

H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度	年度平均掲載件数
4件	7件	11件	24件	6件

※平成 28～30 年度は「12 次産業化優良事列表彰」受賞案件として紹介した件数、令和元年度は「民間事業者の取組事例」として市ホームページに掲載した件数（一部重複あり）を反映させています。

令和 2 年度以降の取組として、これまでの実績平均値を上回る 7 件/年度 を目標に民間の取組事業を市ホームページで掲載していきます。

また、事業創設に向けた機運醸成や、既存事業の発展となるきっかけ作りとして、取組事業者によるセミナー等を 年 1 回以上 開催することで、民間事業者の取り組みの橋渡し役としての役割を果たしていきます。



花開く活力、広がる笑顔、政令市新潟